令和５年度　湯梨浜町立羽合小学校　学校だより

はわい物語

令和６年２月５日　No.１７
文責　校長　谷口

心の鬼を退治しよう

１月は＂行く＂と言われる通り、あっという間に２月に入りました。そして昨日２月４日は立春、暦の上では春を迎えました。

このような中、先週２月の全校朝会を行いました。児童への話の中で、「２月と言えば？」と尋ねると、すかさず「豆まき」「節分」と返事が返ってきました。多くの児童が伝統行事をとおして季節の節目を感じながら育ってきたことがよくわかりました。きっと３日の節分には、「鬼は外、福は内」と豆まきをされたご家庭も多いのではないでしょうか。昔の人は、病気、争いごと、大雪や雷など、世の中のたくさんの怖いものや嫌なものは、みんな鬼の仕業だと考えたそうです。日常生活の中で、人間にはどうすることもできないものへのある種の畏敬の念が、鬼という形になったような気がします。

このようなことをかみ砕いて話した後、次のように話をしています。

「始業式で目標に向かってしっかり**“しあげる”**いうことを話しましたよね。しあげて自分自身が進化するためには、自分の心の中に隠れている鬼をやっつけないといけません。皆さん、心の中に、怠け鬼や宿題めんどうくさい鬼、ゲームがやめられない鬼などいませんか？自分の心の中の鬼と勝負して、やっつけ、みんなが進化してほしいです。」

３学期は残り６年生：２７日、１～５年生：３１日です。心の鬼と正面から向き合い、やり切ったと言える**“しあげ”**の期間にしてほしいと願っています。

ありがとう大谷選手 Part2

とある昼休憩、２年生の女子２人が校長室にやってきました。「どうしたの？」と聞くと、「このお手紙を大谷翔平選手に届けてください。」とのこと。お手紙には、「グローブありがとうございます。大じにつかいます。しあいがんばってください。それと、すきなやさいはなんですか。わたしはとまとです。」と記されていました。さらに聞くと、グローブも大谷選手が直々に持ってきてくれたものと思っていたようです。なんといとおしい子ども達でしょう。

「ごめんね。校長先生は大谷選手のお家が分からないのでとどけられないよ。でもね、２人の気持ちはきっと伝わると思うよ。」と大人の対応をしてしまいました。素敵な心の子どもたちが育っていることを改めて実感しました。

感動です！

姿を現しました

先日、建物を覆っていた足場や防音シートが撤去され、完成間近の校舎が姿を現しました。既存の校舎と同じような色合いで統一されています。これから内装や外回りを整備され、今月末に完了の予定です。

校舎増築により撤去した総合型の遊具も校庭入り口付近に設置され、まもなく使用可能となる予定です。